

環境省における毒ガス問題への最近の取組状況について

平成 17 年 2 月 15 日現在

全般	茨城県神栖町		神奈川県寒川町・平塚市 千葉県習志野	全国調査
	健康影響に係る緊急措置	汚染源調査		
<ul style="list-style-type: none"> ・15年6月6日 「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策について」閣議了解。 ・15年12月16日 「国内における毒ガス弾等に関する今後の対応方針について」閣議決定。 ・15年12月17日 - 第1回国内における毒ガス弾等に関する関係省庁連絡会議開催 - 毒ガス情報センター発足 <p>【最近の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年11月15日 第5回国内における毒ガス弾等に関する関係省庁連絡会議幹事会開催（第1回 1/28 第2回 3/16、第3回 4/26、第4回 6/23）。 ・17年2月22日 第11回「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会」開催予定（第1回 16/4/23 第2回 5/14、第3回 6/8、第4回 7/5、第5回 8/3、第6回 9/2、第7回 10/26、第8回 12/6、第9回 17/1/14、第10回 1/20）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・15年3月 飲用井戸から環境基準の450倍のヒ素検出(通称「A井戸」、旧軍の毒ガス由来の可能性が高い有機ヒ素(ジフェニルアルシン酸)と判明。住民に健康影響。西方の井戸からも検出。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・15年3月21日 ヒ素水質基準超過飲用井戸の飲用自粛を要請及び上水道への転換を促進。 ・15年6月6日 健康被害に係る緊急措置事業要綱を取りまとめ。 ・15年6月30日 申請の受付開始。 ・16年2月25日 A・B地区を中心とした地域内での飲水中止を要請 <p>【最近の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年9月16日 神栖産米からジフェニルアルシン酸検出。検出米常食者を緊急措置事業の対象とする方針決定。 ・16年12月14日 ジフェニルアルシン酸検出米から、新たな物質であるフェニルメチルアルシン酸を検出。今後分析法の検討、毒性評価等を実施する予定。 <p>・緊急措置事業の状況 (2/15現在)</p> <p>申請者 517名 医療手帳対象者 135名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・15年5月末～16年8月 < A 地区 > 4段階にわたって、物理探査、ホーリング調査等を実施。A井戸周辺3ヵ所で極めて高濃度の有機ヒ素を検出。A井戸から南東90mの地点で高濃度のジフェニルアルシン酸検出。掘削調査の実施を決定し準備を開始。 < B 地区 > 11月から広範な井戸水調査等を実施し、地下水汚染の拡大がないこと等を確認。 <p>【最近の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> < A 地区 > ・16年12月24日 現場公開の後、掘削開始。 ・17年1月20日 高濃度のジフェニルアルシン酸を含むコンクリート様の塊(東西10m×南北8m×厚さ1m以上)を発見。当該塊自体が汚染源と特定はできないが、当該塊内部等を中心に調査することを決定。 < B 地区 > ホーリング調査等を継続。 < その他 > 地下水の流れや地歴等についても並行して情報収集中 	<p>< 寒川・平塚 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・14年9月 寒川町のさがみ縦貫道路建設現場で作業員が旧軍毒ガスに被災。 ・15年4月 平塚市の地方合同庁舎建設現場土壌から毒ガス成分が検出。 <p>< 習志野 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 15年11月末、全国調査結果に基づき、A事案に分類。いずれも国有地・直轄地の場合は、所管省庁が調査等を実施し、その他の地域は環境省が対応。 <p>【最近の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次調査(16年7月～9月) 地下水、大気、物理探査、土壌、表層ガス調査を実施。寒川・習志野では毒ガス成分を検出せず。平塚については、地下水からジフェニルアルシン酸等を検出したため、井戸水の飲用中止を指導するとともに、汚染状況把握のための調査を実施。 ・第二次調査(16年12月～) 土壌、表層ガス調査を実施中。 ・第三次調査(17年2月～) 不審物確認調査実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・15年6月末～7月中旬 各省庁、都道府県等へ依頼。 ・15年8月末 情報提供締切。500件余りの情報が提供。 ・15年11月28日 調査結果を公表。既に判明しているもの以外に切迫した事案はなかったが、138に整理した事案を陸域4分類(A～D事案)と水域に分類。 ・16年2月4日 都道府県等へ情報収集のため、BC事案を中心に追加的情報収集を依頼。 <p>【最近の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国の事案に関する情報収集及び地下水調査を実施しており、年度末に評価・対応方針決定を行う予定。 なお、BC事案のうち、重点的な地下水調査を9事案について行った結果、大久野島の事案よりジフェニルアルシン酸等を検出(他の8事案は検出されず)。現在の利用状況では危険が生じるものではないが、今後土壌等の環境調査の具体的な方策を検討することとしている。